

いちのみやにしこう

一宮西港道路

第1回 計画段階評価

国土交通省 中部地方整備局

令和5年2月3日

目次

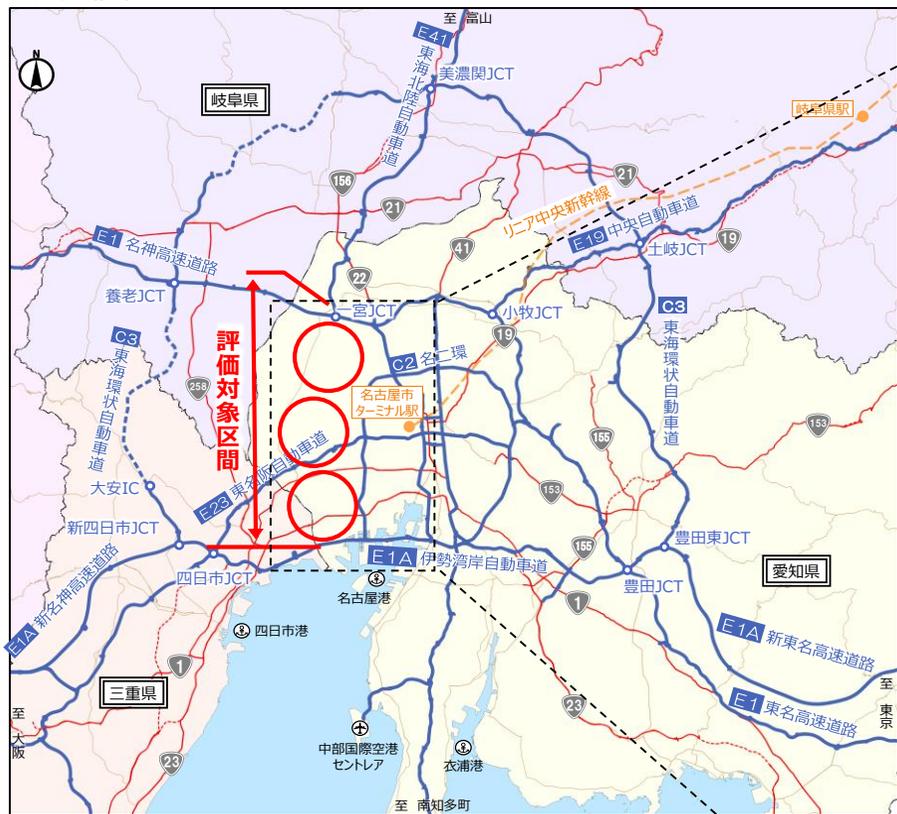
1. 計画段階評価区間	2
2. 計画段階評価手続きの進め方（案）	4
3. これまでの検討状況	6
4. 地域の状況	8
5. 道路交通の現状と課題	14
6. 政策目標（案）の設定	19
7. 意見聴取方法（案）	24

1. 計画段階評価区間

1. 計画段階評価区間

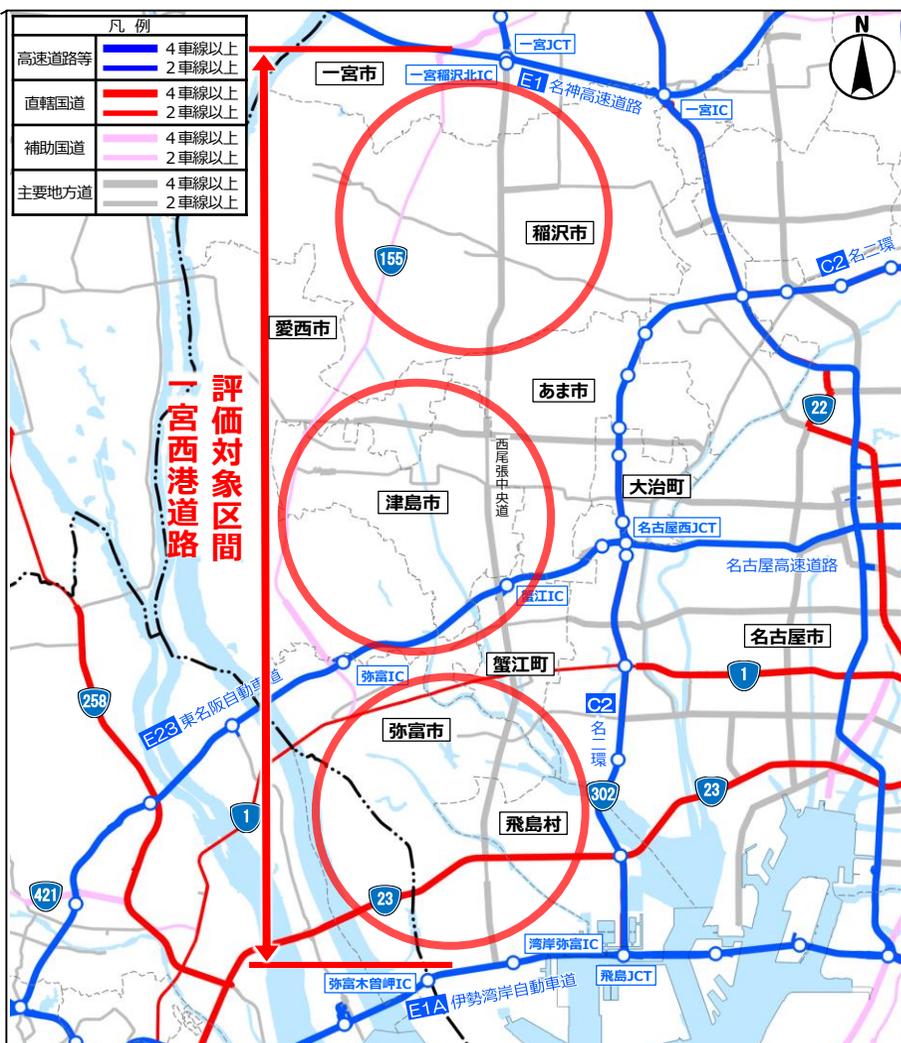
○ 計画段階評価区間は、東海北陸自動車道 一宮JCTと伊勢湾岸自動車道を結ぶ区間。

■ 広域図



凡例	
高速道路等	開通済
	事業中
直轄国道	開通済
	事業中

■ 詳細図



2. 計画段階評価手続きの進め方（案）

2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【令和4年3月4日】

今回
【令和5年2月3日】

令和3年度 名古屋都市圏 環状機能検討会

【検討内容】

- ◆一宮西港道路に期待される機能、役割
- ◆一宮西港道路の今後の方向性

中部地方小委員会 (第1回)

【審議内容】

- ◆計画段階評価手続きの進め方(案)
- ◆これまでの検討状況
- ◆地域の状況
- ◆道路交通の現状と課題
- ◆政策目標(案)の設定
- ◆意見聴取方法(案)

意見聴取

◆意見聴取内容

- 地域の課題
- 政策目標(案)

◆意見聴取方法

《ヒアリング・アンケート》

対象者：
地方公共団体
関係団体
地域住民
道路利用者 等

中部地方小委員会 (第2回)

【審議内容】

- ◆意見聴取結果
- ◆政策目標の設定
- ◆複数案の設定
- ◆評価項目の設定
- ◆意見聴取方法(案)

意見聴取

◆意見聴取内容

- 複数案の比較評価時に重視・配慮すべき事項

◆意見聴取方法
《ヒアリング・アンケート》

対象者：
地方公共団体
関係団体
地域住民
道路利用者 等

中部地方小委員会 (第3回)

【審議内容】

- ◆意見聴取結果
- ◆地域意見を踏まえた整備方針
- ◆対応方針(案)の検討

対応方針の決定(概略ルート、構造)

地方小委員会

3. これまでの検討状況

3. これまでの検討状況

- 名古屋都市圏環状機能強化の検討のため、令和元年12月に、名古屋都市圏環状機能検討会を設置。
- 令和4年3月に開催した令和3年度名古屋都市圏環状機能検討会において、名古屋都市圏の道路ネットワークの今後の方向性をとりまとめ、**一宮西港道路の概略ルート・構造の検討に着手**することを公表。

<一宮西港道路>

○期待される機能、役割

- ・名二環の混雑緩和、名古屋港からの南北物流アクセス向上（南北国土軸のミッシングリンク解消）
- ・高速道路の連続利用・連絡性強化、リダンダンシーの向上（東海北陸・名神・東名阪・伊勢湾岸）

○今後の方向性

- ・一宮西港道路は、高速道路NWと一体となって効果を発揮し、NWの課題改善、機能向上に資する道路のため、**路線検討は国で実施**

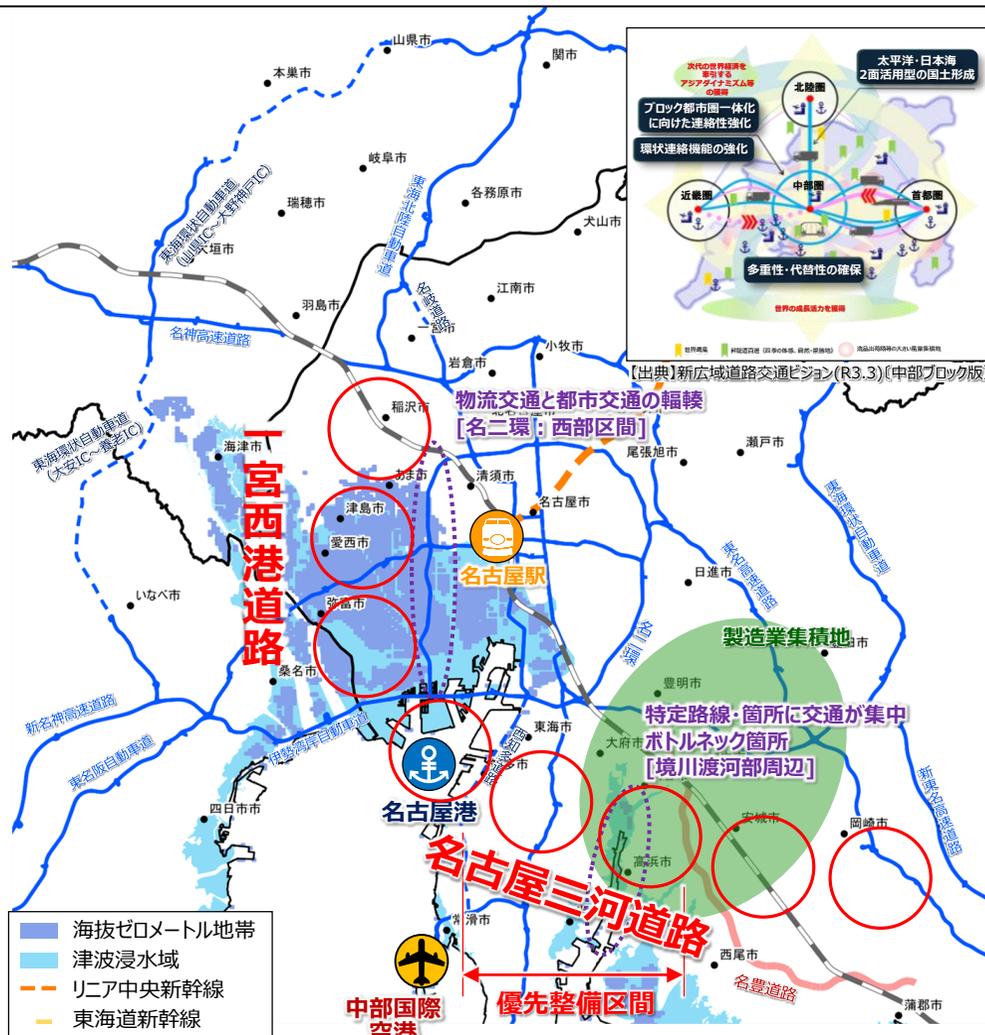
<名古屋三河道路>

○期待される機能、役割

- ・伊勢湾岸道とのダブルネットワーク化による高速道路NWの機能向上（全線整備の場合）
- ・西三河・知多地域の地域道路網の混雑緩和、境川渡河部の混雑緩和

○今後の方向性

- ・名古屋三河道路は、将来的には、高速道路NWと一体となって効果を発揮する道路であるが、延長が約50kmと長く、整備効果の早期発現を図るため、優先区間を絞り込むことが重要
- ・まずは、顕在化する地域課題の早期解決に向けて、**西知多道路～国道23号名豊道路を当面の優先整備区間**に設定し、**路線検討は県が実施**



道路交通の課題と新たなネットワーク

4. 地域の状況

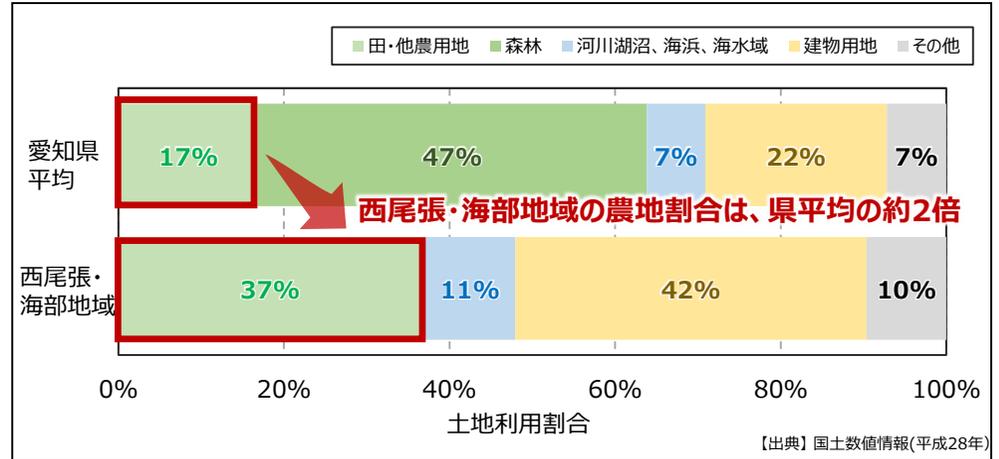
4. 地域の状況 ①土地利用・人口

- 西尾張・海部地域は、名古屋都市圏周辺の主要都市である名古屋市、岐阜市、四日市市や、国際拠点港湾である名古屋港に隣接する地域であるとともに、県平均と比べると、農地割合が高い。
- また、当該地域には一定の人口集積があり、近年は全国水準を上回る伸び率で増加している。

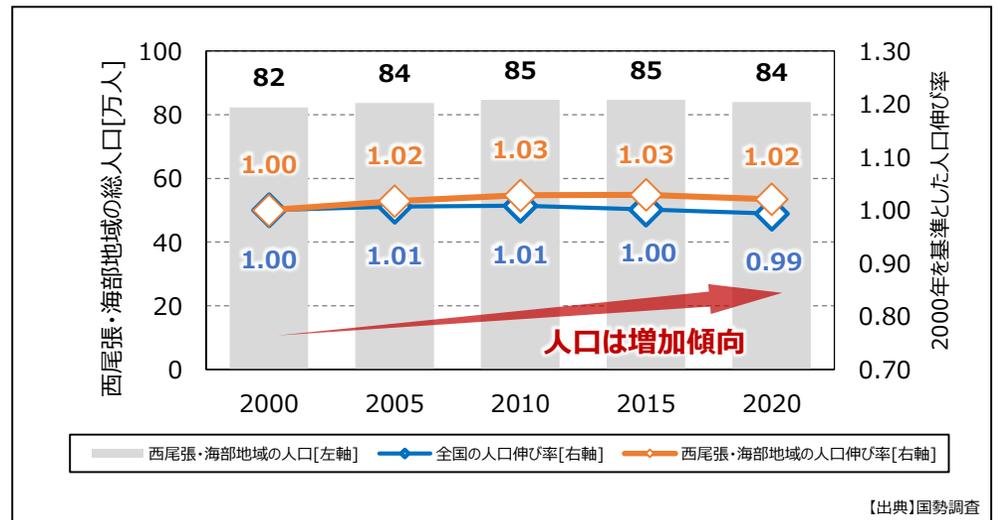
■ 西尾張・海部地域の地理的特徴



■ 西尾張・海部地域の土地利用割合



■ 西尾張・海部地域の人口推移



※西尾張・海部地域：一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村

4. 地域の状況 ②港湾物流(名古屋港)

- 名古屋港は、輸出額・貿易収支・取扱貨物量・外貿コンテナ取扱貨物量で全国1位、輸入額は全国2位であり、日本の経済・物流を支えている。
- 鍋田ふ頭や飛島ふ頭では、国際海上コンテナターミナルの整備が進められており、今後、将来貨物量の増加が一層見込まれる。

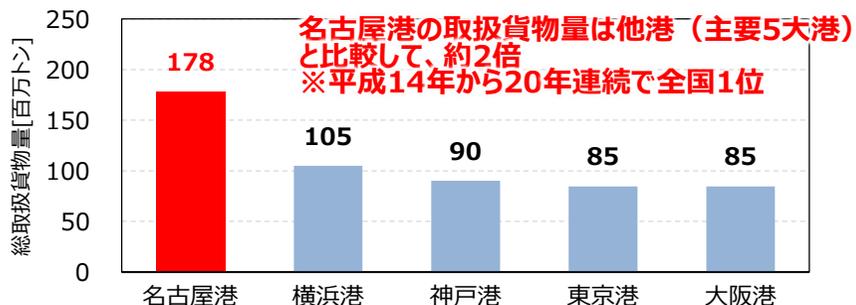
■名古屋港の概要

・名古屋港の貿易額

項目	金額	備考
輸出額	12兆4,805億円	23年連続全国1位
輸入額	5兆2,887億円	全国2位
貿易収支	7兆1,918億円	24年連続全国1位

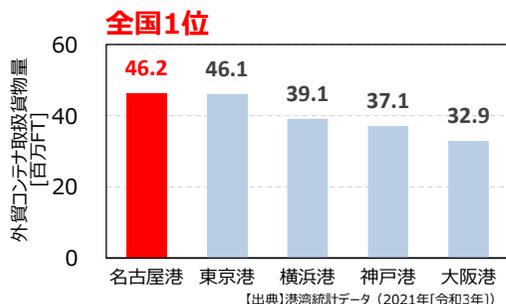
出典：名古屋港統計年報（2021年[令和3年]）

・名古屋港の取扱貨物量 ※主要5大港比較



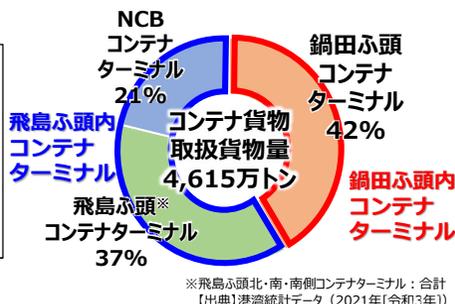
出典：名古屋港統計年報（2021年[令和3年]）

・名古屋港の外貿コンテナ取扱貨物量



【出典】港湾統計データ（2021年[令和3年]）

・ふ頭別コンテナ取扱貨物量



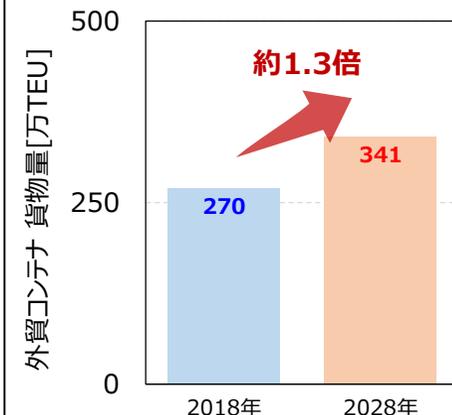
■一宮西港道路周辺ふ頭位置



【出典】地理院地図

■名古屋港における将来貨物量推計

・外貿コンテナ取扱貨物量



【出典】名古屋港ふ頭再編整備事業：説明資料

■国際海上コンテナターミナルの整備

・鍋田ふ頭



近海航路のコンテナ貨物量の増加に対応するため、新たなコンテナターミナル（2バース）を整備する計画が予定。また、耐震強化岸壁とすることで震災時のコンテナ輸送を確保。

【写真提供】名古屋港管理組合

・飛島ふ頭



コンテナ貨物の増加や延泊の大型化に対応するため、岸壁水深の増深改良工事を実施。2022年10月に新R1バースが供用。

【写真提供】名古屋港管理組合

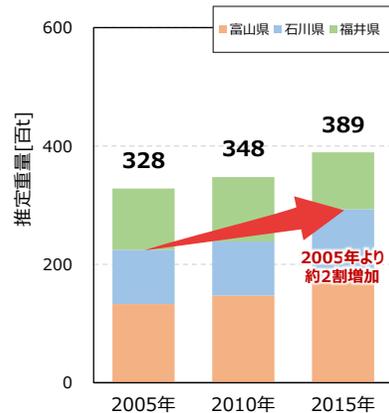
4. 地域の状況 ③交通流動

- 名古屋港を発着する物流流動は、北側地域（北陸方面）と東側地域（関東方面）が多く、愛知県⇔北陸地域は増加傾向。
- また、富山県で生産された「産業機械」は、主に名古屋港から輸出される等、北陸地域との結びつきが強い。
- 西尾張・海部地域の地理的中心に位置する津島市の交通流動〔地域流動〕は、自動車利用が約7割と多く、うち地域内交通が約7割あり、南北移動が主交通。

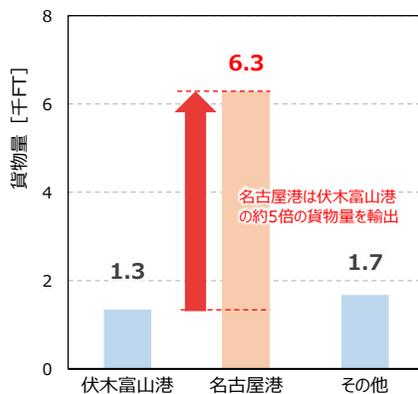
■ 広域流動



・愛知県⇔北陸地域の物流流動

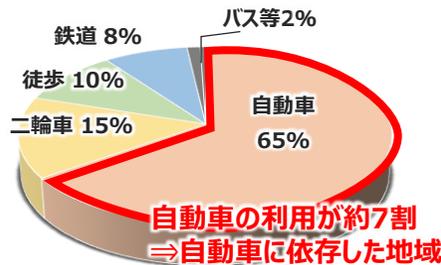


・富山県で生産された「産業機械」の輸出处別貨物量

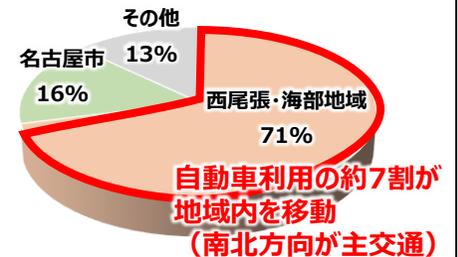


■ 地域流動

・津島市発着の交通手段内訳

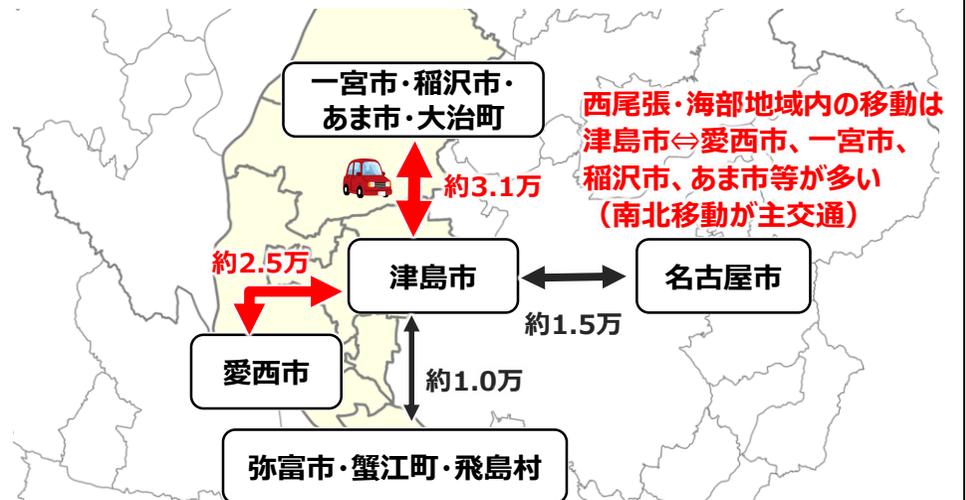


・津島市発着の地域別交通内訳



※津島市内々交通を除く
※西尾張・海部地域：一宮市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村

・津島市発着の交通特性（トリップ量）

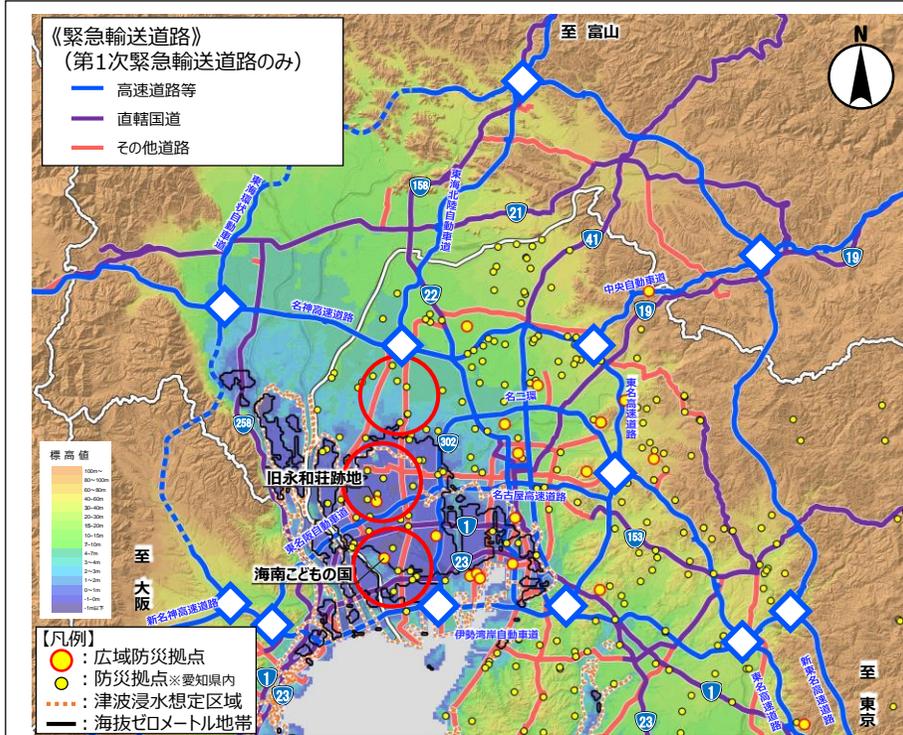


【出典】中京都市圏パーソントリップ調査 (H23)

4. 地域の状況 ④防災

- 西尾張・海部地域が位置する濃尾平野は日本最大の海拔ゼロメートル地帯であり、広大な面積が津波浸水区域に指定されている。
- 南海トラフ巨大地震を想定し、啓開ルート（「くしの歯作戦」）の策定や、広域支援を可能とする拠点整備が進められている。

■ 海拔ゼロメートル地帯（濃尾平野）



海拔ゼロメートル地帯	大阪平野	濃尾平野	関東平野
面積[km ²]	124	336	116
人口[万人]	138	90	176

濃尾平野には、日本最大の海拔ゼロメートル地帯が存在

【出典】緊急輸送道路：国土数値情報
標高値：基礎地図情報（数値標高モデル）を加工して作成
海拔ゼロメートル地帯：洪水・高潮氾濫からの大規模・広域避難に関する基本的な考え方（報告）（H30.3）
防災拠点：①要知県地域防災計画（R3.7） ②南海トラフ地震における要知県広域受援計画（R3.7）
③第3次あいち地震対策アクションプラン進捗レポート2021（R3.9）
④広域防災拠点は、①の広域防災活動拠点、中核広域防災活動拠点、航空広域防災活動拠点、臨海広域防災活動拠点、
②の広域進出拠点、③で検討されたヘリポート整備予定候補地を選定

■ 災害時における物資輸送

・ 南海トラフ巨大地震等の災害時の物資輸送

東海北陸自動車道は「中部版くしの歯作戦」に選定され、被災後優先的に啓開、緊急物資輸送ルートとして機能する想定
⇒南海トラフ地震を想定した際、日本海側の港湾・道路等の輸送網を活用した広域支援ルートを確保する必要がある



【出典】中部版「くしの歯作戦」（令和3年5月）

■ 広域防災拠点

第3次あいち地震対策アクションプラン進捗レポート2021にて、海拔ゼロメートル地帯において、広域的な防災活動拠点の整備を推進。

- ・西尾張・海部地域[木曾三川下流域]の整備箇所
【愛西市】旧永和荘跡地
【弥富市】海南こどもの国内
- ・整備内容
盛土地盤、ヘリの離発着場、防災倉庫 等



【出典】第3次あいち地震対策アクションプラン進捗レポート2021（2021年9月）

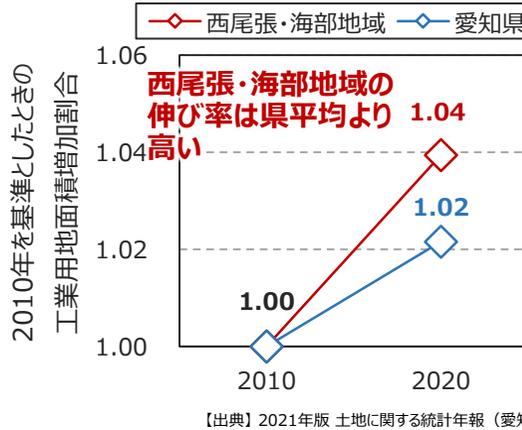
4. 地域の状況 ⑤地域開発

- 西尾張・海部地域の工業用地面積は、**県平均を上回る水準で増加しており**、沿線市町村の将来構想において、**工業拠点の誘致等による産業振興**を位置づけている。
- 2021年3月に開通した一宮稲沢北IC周辺では**新たな物流拠点の立地等**が近年進められている。

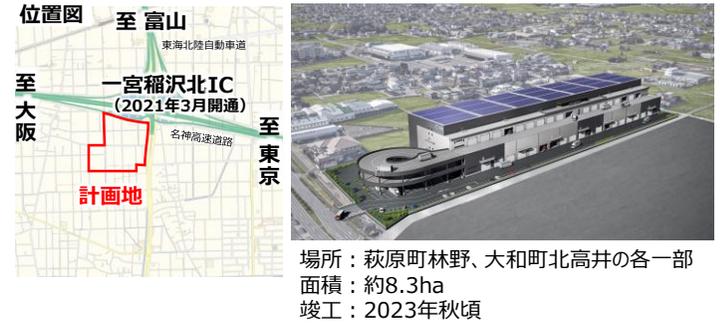
■西尾張・海部地域における地域開発の状況



・工業用地面積の推移



・一宮稲沢北 I C 付近の地域開発（一宮市）



一宮市では、東海北陸自動車道等の広域交通網への利便性の高さを活かしつつ、周辺環境と調和の形成を図った地区計画を推進

・地域開発に関する沿線市町村の将来構想

市町村	土地利用の方針、開発意欲等
一宮市	市街化の抑制と農用地保存を基本としつつ、 利便性の高い地区での居住や産業の立地誘導 を図る
稲沢市	産業振興を推進するにあたり、 広域交通条件に恵まれた立地特性を活かした新たな工業系市街地の確保 を図る
津島市	名古屋近郊に位置する立地特性を活かし、 産業振興と農業振興の土地利用の形成 を図る
愛西市	周辺環境に配慮しつつ計画的に土地利用を誘導することで、 立地ポテンシャルを活かした企業誘致の推進 を図る

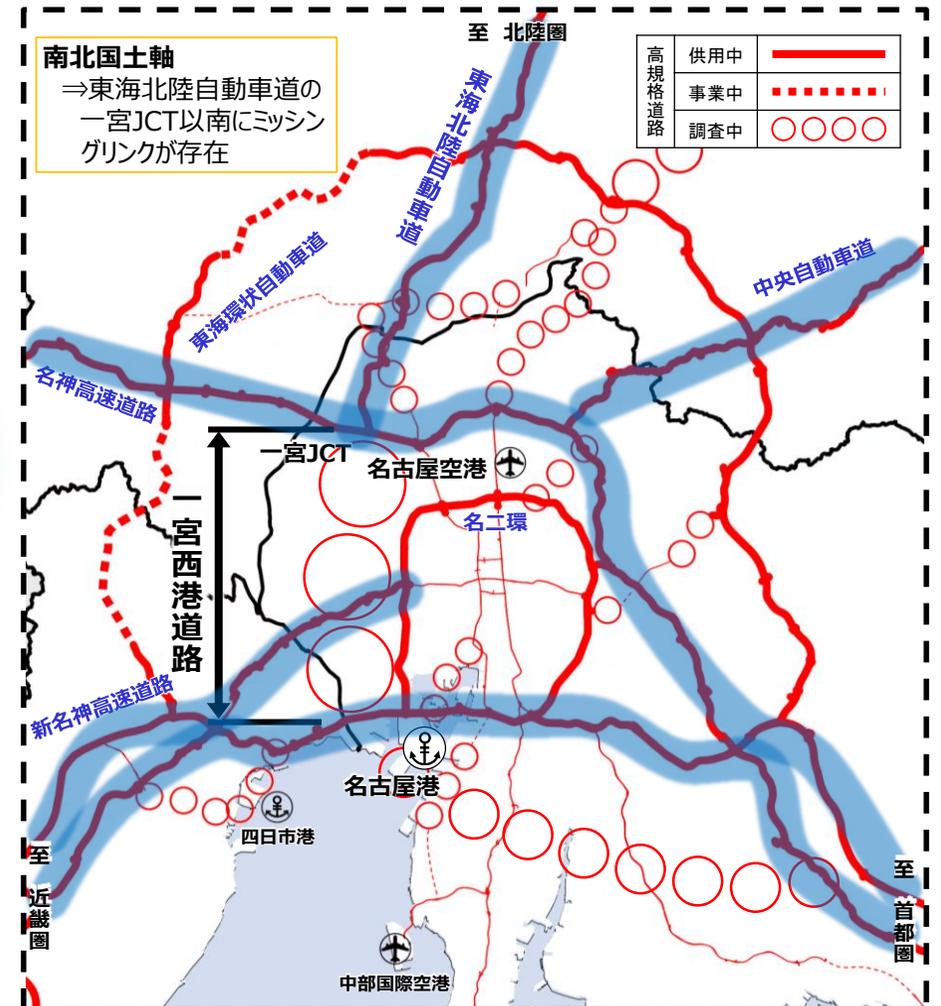
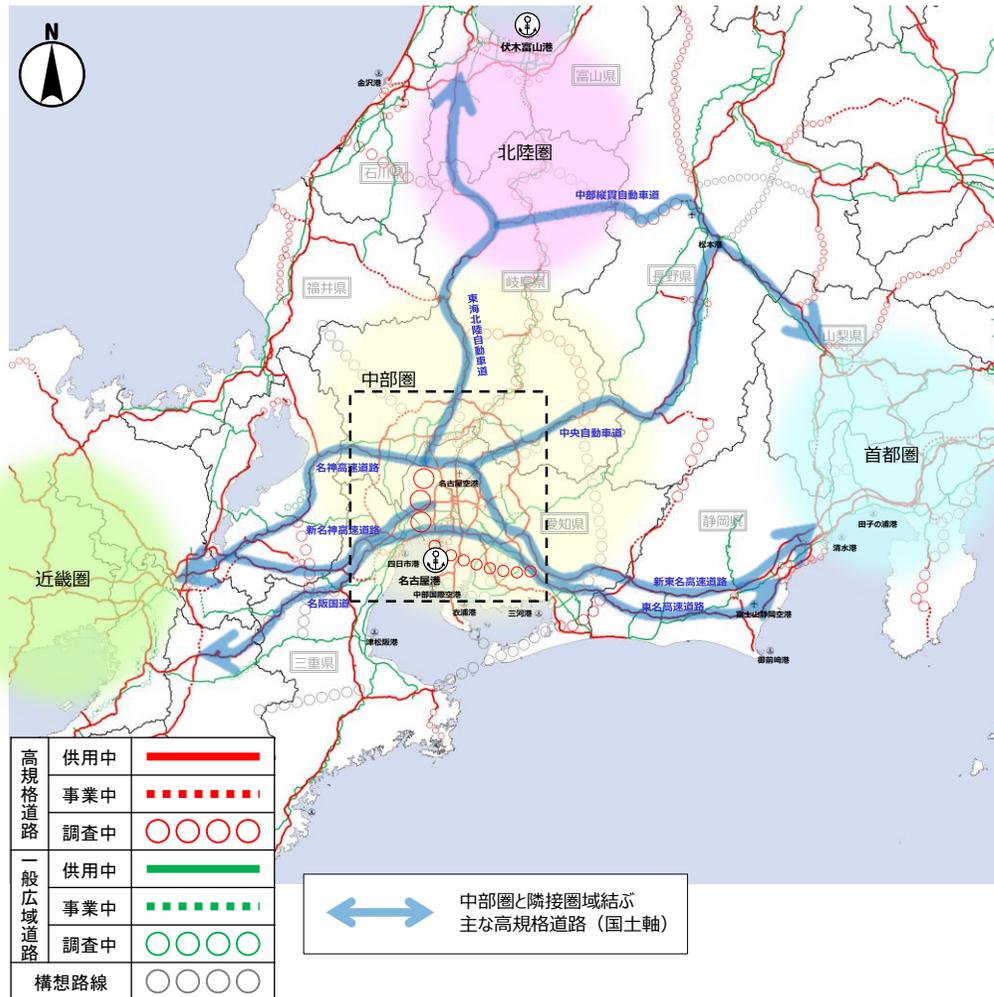
【出典】各市町村の都市計画マスタープラン

5. 道路交通の現状と課題

5. 道路交通の現状と課題 ①評価対象区間周辺のネットワーク状況

○ 中部圏では、首都圏、近畿圏を結ぶ東西国土軸は、ネットワークが多重化する一方、太平洋と日本海を結ぶ南北国土軸は、**東海北陸自動車道**が役割を担うが、**一宮JCT以南にミッシングリンクが存在**。

■道路ネットワークの課題



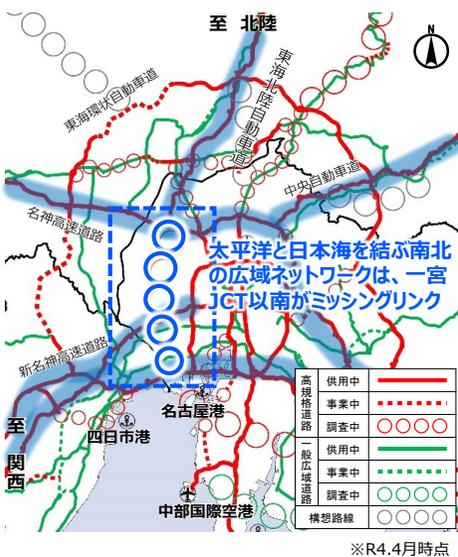
※中部地整管内：R4.4月時点、中部地整管外：R3.3月末時点

5. 道路交通の現状と課題 ②物流交通

- 名古屋港と北陸地域の物流流動の結びつきは強いものの、太平洋と日本海を結ぶ南北の広域ネットワークには、一宮JCT以南にミッシングリンクが存在。
- そのため、西尾張中央道（一般道）は大型車混入率が高く、主要渋滞箇所も点在しており、所要時間にバラつきがある。

■西尾張中央道（一般道）への物流交通流入による交通課題

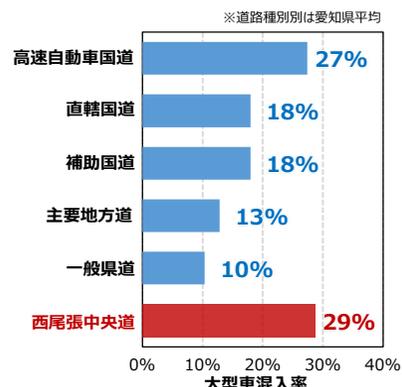
・ミッシングリンクの存在による西尾張中央道への大型車混入率



写真①：西尾張中央道の混雑状況

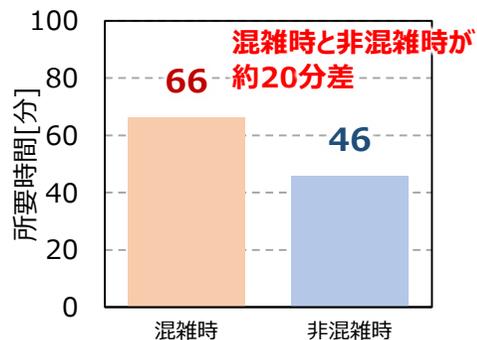


・大型車混入率の比較



【出典】平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査

・所要時間の比較（西尾張中央道利用）



【出典】ETC2.0データ（2021年9-11月平日平均）
※混雑時：8時台 非混雑時：7時台
※経路：一宮JCT→鍋田交差点

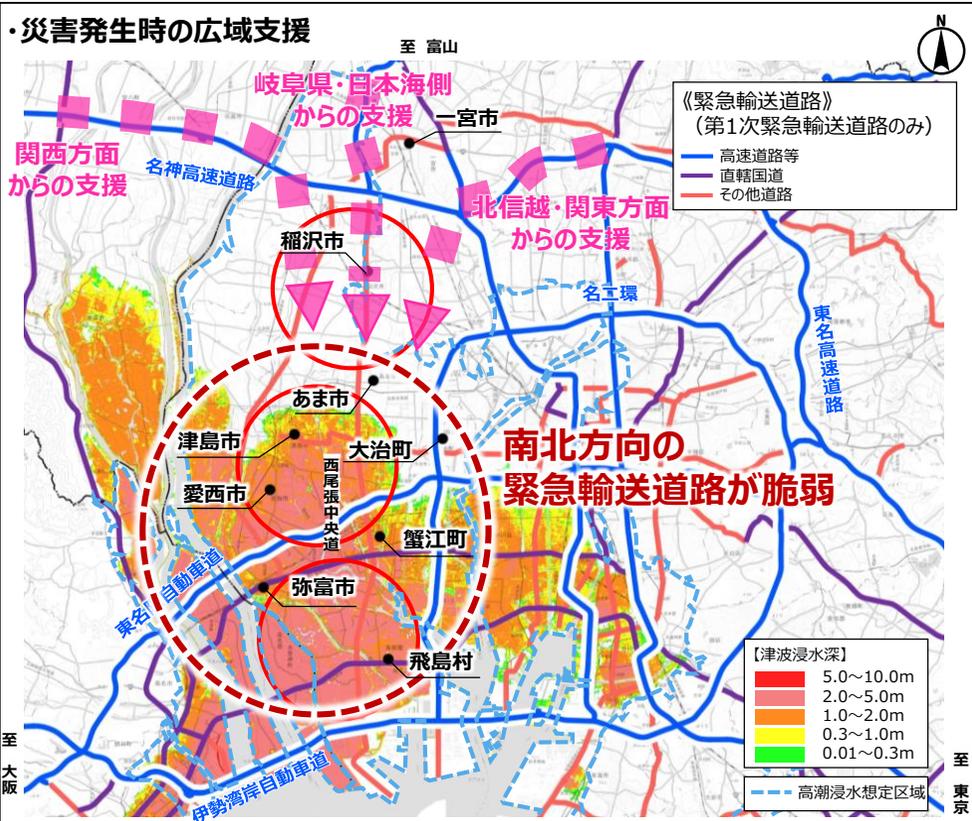
写真②：一般道に流入する物流交通



5. 道路交通の現状と課題 ③災害リスク

- 大規模災害発生時には、日本海側の港湾や道路の輸送網等を活用した**広域支援ルート**を確保する必要がある。
- 西尾張・海部地域は**南北方向の緊急輸送道路が脆弱**で、東西軸を接続する**ラダーネットワーク**がないため、避難や救援活動への影響が懸念。

■西尾張・海部地域における災害時の道路ネットワーク

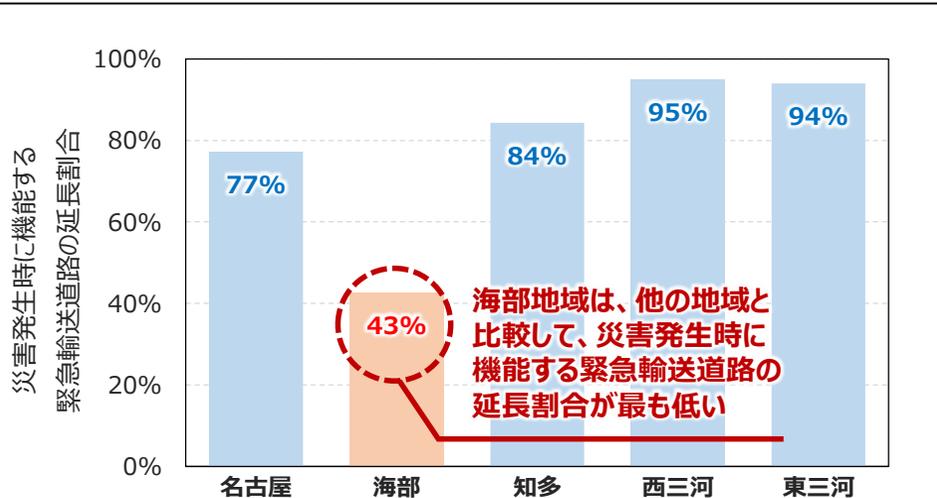


・高架構造の道路が少ないため、津波浸水時に**道路が冠水するリスク**があり、名神高速道路・東名阪自動車道・伊勢湾岸自動車道の**東西軸を直接的に接続するラダーネットワークもない**

⇒ 災害発生時の避難、救援活動への影響が懸念

【出典】国土数値情報

■災害発生時に機能する緊急輸送道路の延長割合（津波浸水の場合）



【出典】国土数値情報

※津波浸水域に位置する緊急輸送道路について、高架構造である道路延長割合を整理

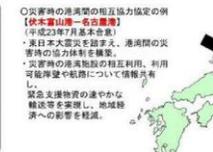
※海部地域：津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛鳥村

※津波浸水域の無い地域については対象外

■災害時における物資輸送

（事例） 東日本大震災発災時の港湾間連携

・東日本大震災では、太平洋側の主要港湾が被災し、港湾機能が一時的にストップしたことから、多くの緊急支援物資や燃料が日本海側港湾を経由して、被災地に届けられた

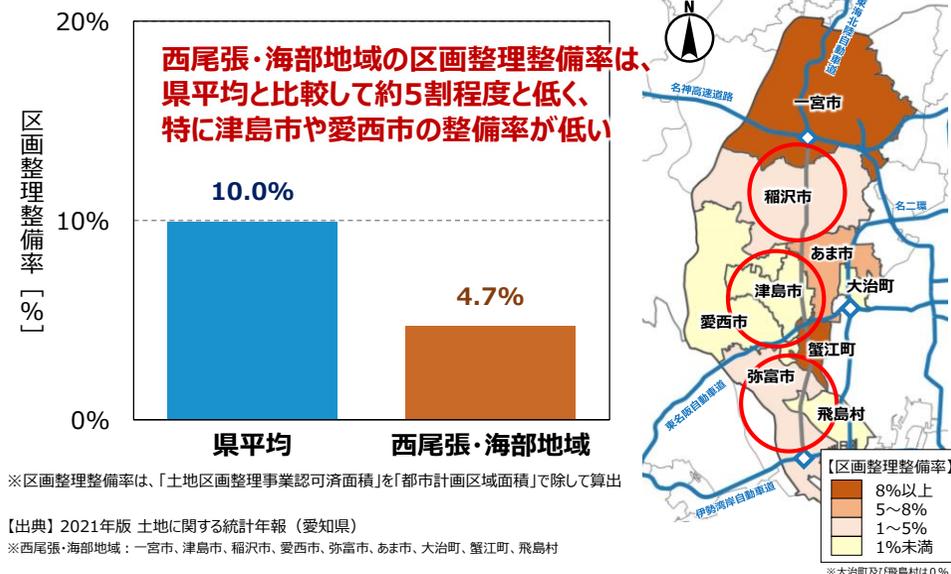


5. 道路交通の現状と課題 ④まちづくり

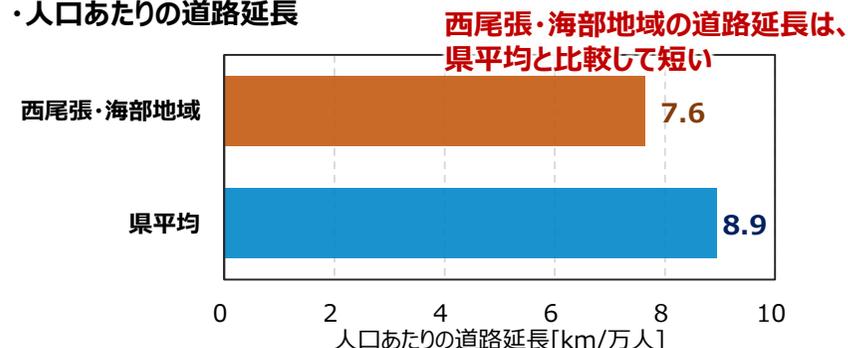
- 西尾張・海部地域は、区画整理整備率が県平均と比較して約5割程度であり、道路延長も県平均より短い、開発行為に対して前向きであり、開発を進めるうえで、広域交通ネットワークの整備や防災対策の強化を望んでいる。
- 名二環周辺では、道路整備により周辺地域の開発が進められており、当該地域も地域開発の可能性が期待される。

■ 西尾張・海部地域の地域開発の状況

・区画整理整備率



・人口あたりの道路延長



■ 地域の声

当市は近隣市町村に比べ高速道路インターチェンジ（名神、第2環状線等）から離れており、**広域交通ネットワークの面から不利な状況**である。市内企業や当市への進出検討企業からも**高速道路インターチェンジが近隣に出来ること強く望まれている**。



津島市



弥富市

市域のほとんどが海拔ゼロメートル地帯で、木曾川をはじめとする数多くの河川が流れており、津波や洪水等の災害ハザードエリアに位置していることから、**開発行為に対しては防災対策が必須**となる。そのため、**道路インフラの整備や防災対策の強化が地域開発の支援に繋がる**。

【出典】沿線市町村ヒアリングより

■ 道路整備を契機とした地域開発（事例）

・名二環北部区間整備による市街地開発

名古屋環状2号線の整備に伴い、周辺地域では計画的に市街地が整備され、**建物の立地、人口集積が進み、まちが広域化**
⇒名古屋都市圏の発展に名古屋環状2号線の整備が寄与

《名古屋環状2号線沿線市町村の世帯数・税収・地価の推移》



6. 政策目標（案）の設定

6. 政策目標(案)の設定 ①地域の将来像

策定主体	計画名称	概要
愛知県	あいちビジョン2030 (R2.11)	<p>【南海トラフ地震対策の推進】 被災時の救急活動・物資輸送を支える緊急輸送道路の整備や無電柱化の推進とともに、その沿道建築物の耐震化を促進</p> <p>【広域幹線道路ネットワークの整備】 国際交流の玄関口となる中部国際空港や名古屋港等の港湾などの交流拠点、圏域内の中核都市、産業集積地域、観光拠点などの相互の交流を活性化していくための道路ネットワークとして、名豊道路、西知多道路の整備を促進するとともに、名岐道路、浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）の早期実現、一宮西港道路、名古屋三河道路の計画の早期具体化に向けた取組を推進</p>
一宮市	一宮市都市計画に関する基本的な方針 (一宮市都市計画マスタープラン) (R2.6)	<p>【多拠点ネットワーク型都市を構成する道路ネットワーク】 産業振興や周辺都市、市内拠点間の交流促進に資する道路網を形成するとともに、渋滞緩和などの道路交通の円滑化、災害に強い道路ネットワークの形成を図る</p> <p>【火災・震災に強いまちづくりに向けた方針】 災害時の避難、救助・物資等の輸送路を確保するため、広域幹線道路及び幹線道路の整備を促進</p>
津島市	津島市都市計画マスタープラン (R3.12)	<p>【幹線道路の整備促進】 広域交通の利便性を活かした工業・物流拠点及び地域振興拠点の形成により、さらなる活力を生む都市づくりを進める</p> <p>【災害時に機能するネットワークの形成】 過去の災害の経験を活かしながら、市域全域の防災・減災対策や防災性の強化等により災害に強い安全な都市づくりを進める</p>
稲沢市	稲沢市都市計画マスタープラン (R2.3)	<p>【道路機能を踏まえた整備】 名古屋港や中部国際空港などに繋がる広域交通体系の構築のため、国・県に対して地域高規格道路一宮西港道路の整備を要望</p>

6. 政策目標(案)の設定 ①地域の将来像

策定主体	計画名称	概要
愛西市	愛西市都市計画マスタープラン (R3.3)	<p>【交通施設整備】 各鉄道駅と弥富インターチェンジを中心として、一体的な交通体系の構築を図るとともに、広域並びに地域間の連携強化や、市街地内における円滑な交通を確保する道路網の整備を推進</p>
弥富市	弥富市都市計画マスタープラン (H31.3)	<p>【骨格道路網の形成】 名古屋港への新たなアクセスとして、(都)西尾張中央道の渋滞解消とともに、都市間の交流促進や地域社会の発展に向け、東海北陸自動車道の南伸となる地域高規格道路一宮西港道路の早期実現に向けて、関係機関と情報共有、検討等を行う</p>
あま市	あま市都市計画マスタープラン (R4.3)	<p>【産業振興により活力を高める都市づくり】 市全体として交通便利性の高い場所を有効活用する観点から、市街化調整区域でも、地区計画制度や条例制定により一定の区域での開発を認める開発許可制度について、必要に応じて検討</p>
大治町	大治町都市計画マスタープラン (R3.3)	<p>【広域的なアクセスの利便性を活かした暮らしやすい都市空間の形成】 広域的なアクセスの利便性を活かし、都市の活力を維持・向上させるための産業の誘致に努める</p>
蟹江町	蟹江町都市計画マスタープラン (R3.3)	<p>【地域の住民と協力した安心・快適な地域づくり】 緊急時の安全を確保するための防災活動拠点、緊急輸送道路、避難場所の整備・確保</p> <p>【広域的な交流・連携による魅力的な産業づくり】 インターチェンジ周辺など広域的な交通便利性の高い地域に、物流業・製造業などの産業を集積</p>
飛島村	飛島村都市計画マスタープラン (R3.3)	<p>【交通施設の整備】 自動車専用道路、国・県道、幹線村道を中心として幹線道路のネットワークを形成し、大型車を含めた交通の円滑な処理を図る</p>

6. 政策目標(案)の設定 ②政策目標(案)

項目	課題	原因	政策目標(案)
物流	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名古屋港と北陸地域の広域アクセス性 ・太平洋と日本海を結ぶ南北の広域ネットワークには、一宮JCT以南にミッシングリンクが存在 ・西尾張中央道（一般道）は大型車混入率が高く、主要渋滞箇所も点在しており、所要時間にバラつきがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港から直接、北陸方面を結ぶ広域ネットワークが整備されていない ・物流交通と地域交通が混在・偏在し、機能分担が図られていない 	<p>速達性、定時性の向上による物流活動の支援</p>
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時の道路ネットワークの確保 ・南北方向の緊急輸送道路が脆弱で、救援活動への影響が懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本最大の海拔ゼロメートル地帯が広がり、広大な津波浸水区域が存在しながらも、南北軸の緊急輸送道路が高架構造でない ・東西軸の高速道路に接続するラダーネットワークが不十分 	<p>災害発生時における信頼性の高い道路ネットワークの強化</p>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ポテンシャルを最大限に高める土地利用 ・区画整理整備率が低く、人口あたりの道路延長も短く、地域開発が最大限に発揮されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開発に必要な道路ネットワークが不十分 	<p>土地利用の高度化、地域と連携した開発の促進による持続可能な地方都市の形成</p>

6. 政策目標(案)の設定 ②政策目標(案)

■各政策目標と課題

物流

速達性、定時性の向上による物流活動の支援

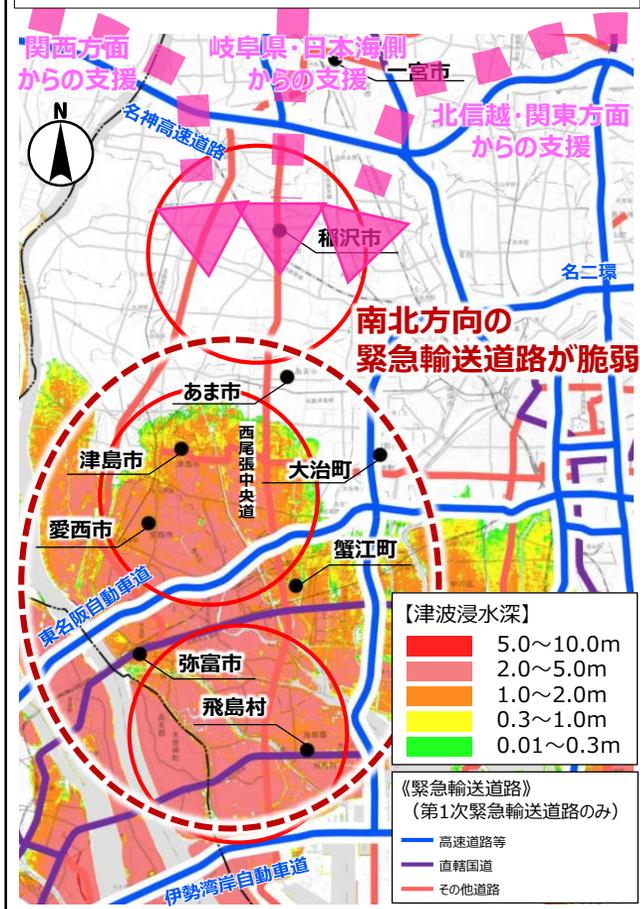
- 【課題：名古屋港と北陸地域の広域アクセス性】
- ①太平洋と日本海を結ぶ南北の広域ネットワークには、一宮JCT以南にミッシングリンクが存在
 - ②西尾張中央道（一般道）は大型車混入率が高く、主要渋滞箇所も点在しており、所要時間にバラつきがある



防災

災害発生時における信頼性の高い道路ネットワークの強化

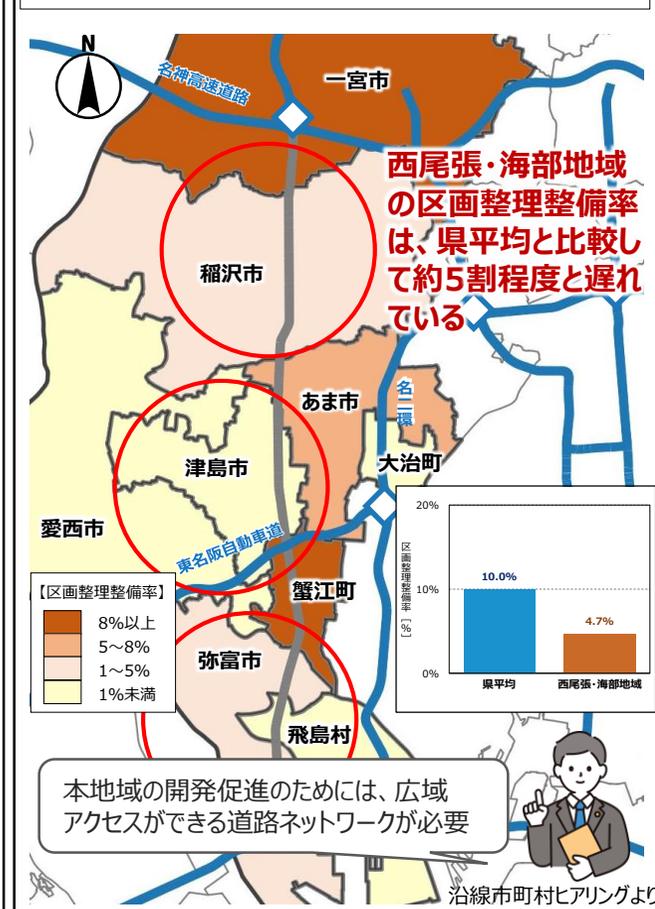
- 【課題：災害時の道路ネットワークの確保】
- ①南北方向の緊急輸送道路が脆弱で、救援活動への影響が懸念



まちづくり

土地利用の高度化、地域と連携した開発の促進による持続可能な地方都市の形成

- 【課題：地域ポテンシャルを最大限に高める土地利用】
- ①区画整理整備率が低く、人口あたりの道路延長も短く、地域開発が最大限に発揮されていない



7. 意見聴取方法（案）

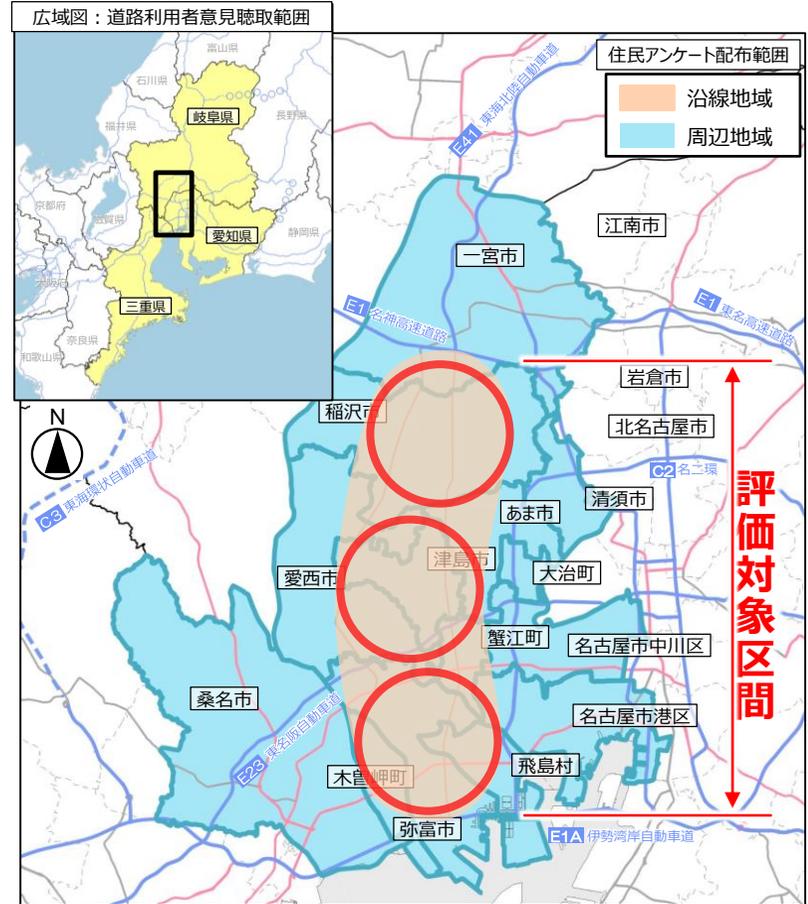
7. 意見聴取方法（案）

① 概要とアンケート実施範囲（案）

- 沿線・周辺地域の住民、道路利用者、地方公共団体、各種団体などから、地域の道路交通課題、道路に求める機能・役割などについて意見を幅広く聴取

■ 意見聴取の概要

項目	調査対象分類		対象詳細	実施手法
	地域住民	沿線		
アンケート	地域住民	沿線	・概ねのルート帯が通過する沿線※1 住民世帯（計 約153,000世帯）	郵送配布（全戸配布）
		周辺	・概ねのルート帯に隣接する周辺※2 住民世帯（計 約55,000世帯）	郵送配布（無作為抽出）
	道路利用者	一般利用者	・周辺地域の「道の駅」利用者（1 駅：立田ふれあいの里） ・周辺高速道路のSA/PA利用者（6箇所：ひるがの高原SA、関SA（上）、川島PA（下）、養老SA、尾張一宮PA、大山田PA）	留め置きアンケートインタビュー
			・概ねのルート帯の近隣の大型商業施設利用者	オープンハウス
			・国、県、沿線・周辺地方公共団体HP・SNSの閲覧者 ・概ねのルート帯周辺を訪れたことがある道路利用者（調査会社の登録モニター）	WEBアンケート
	利用務上	・商工会議所会員企業 ・観光協会会員企業 ・愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・富山県・石川県・福井県のトラック協会、バス協会会員企業 ・愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県のタクシー協会会員企業	郵送配布	
ヒアリング	各種団体	団公地 体共方	・愛知県、岐阜県 ・沿線地域※1及び周辺地域※2の9市3町1村	ヒアリング
		産経 業団 体	・沿線、周辺地域内の商工会議所、観光協会、トラック協会、バス協会、タクシー協会、農業協同組合、名古屋港管理組合、教育委員会	
	医消警 療防察 ・	・沿線、周辺地域内の警察署、消防本部、医療機関 等（警察署、消防署、病院）		
	その他	・中日本高速道路株式会社、名古屋高速道路公社		



周知方法 記者発表、ポスター掲示、国、県、沿線・周辺地方公共団体HP・SNSへのバナー貼付、市町広報誌

回収方法 郵便ポスト、WEBによる回答（WEB）、対象箇所に投函ボックスを設置

期間 全体期間 約2ヶ月

※1 沿線地域：概ねのルート帯が通過する地域（全戸配布）
【愛知県】名古屋市中川区・港区、一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡蟹江町、海部郡飛鳥村
【三重県】桑名郡木曽岬町

※2 周辺地域：沿線地域に隣接する自治体（無作為抽出による配布）
【愛知県】名古屋市中川区・港区、一宮市、稲沢市、清須市、愛西市、あま市、海部郡大治町
【三重県】桑名市

7. 意見聴取方法（案） ②アンケート調査項目・内容（案）

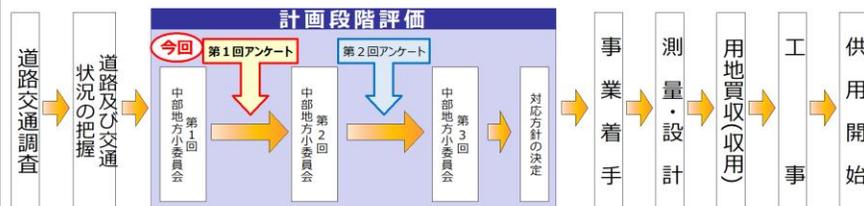
■ アンケート調査項目・内容

アンケート調査項目	アンケート調査内容
回答者の属性 道路利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 回答者の属性 <ul style="list-style-type: none"> ・住所（町字まで記載） ・性別 ・年齢 ・職業 ■ 周辺道路ネットワークの利用頻度 <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎日、週に数回程度、月に数回程度、ほぼ利用しない、利用したことがない ■ 利用目的 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事、通勤・通学、日常的な買い物・通院等、観光・レジャー 等 ■ 目的地 <ul style="list-style-type: none"> ・町字まで記載
道路交通課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一宮西港道路周辺の道路網の交通課題 <ul style="list-style-type: none"> ※ 4段階評価（4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない） <ol style="list-style-type: none"> ①一般道に大型車両と通勤車両が混在して危険 ②一般道が混雑しており、速達性・定時性が低い ③地震や津波により道路ネットワークが分断される恐れがある ④被災時に救援活動や支援物資等の円滑輸送に不安がある ⑤地域から広域交通ネットワーク（高速道路）にアクセスしづらい ⑥道路ネットワークが不足しており、産業立地などの空白地帯が存在している ⑦その他（自由回答）
道路に求める機能・役割	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一宮西港道路周辺の道路網に求められる道路機能 <ul style="list-style-type: none"> ※ 4段階評価（4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない） <ol style="list-style-type: none"> ①大型車が市街地の一般道をなるべく通らないようにできること ②名古屋港からの広域交通のアクセス性が向上すること ③津波浸水想定エリアに信頼性の高い支援ルートが確保されること ④津波浸水想定エリアで道路が緊急避難場所として機能すること ⑤地域から広域交通ネットワーク（高速道路）にアクセスしやすくなること ⑥地域開発等の活性化に寄与すること ⑦その他（自由回答）
その他自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ その他、道路に関する自由意見

7. 意見聴取方法 (案) ③アンケート調査 (紙面構成案 : P2)

道路事業の流れ (計画段階評価の流れ)

計画段階評価では、地域の皆様のご意見をお伺いしながら、地域の状況と課題、道路に求められる機能等を整理し、今後整備を進める道路について、概ねのルートや構造を評価していきます。



※今後、必要に応じて都市計画決定や環境影響評価の手続を実施

アンケートの回答方法

手順① : P1にアンケート対象箇所を示しております。
アンケート対象区間をご確認ください。



対象区間

手順② : P3、4を見ながら回答してください。
※回答は下記の回答方法①、又は②のどちらかからお願い致します。

P.3[本紙]



P.4[本紙]



回答方法①

: こちらからアクセスして、WEBページ内の手順に沿って回答してください。



Sample

https://www.*****

回答方法②

: 回答用紙 (返信ハガキ) に記入の上、ポストへ投函してください。



回答用紙 (ハガキ)

回答用の郵便はがきの記入例

- ・**選択回答**の設問は、あてはまる番号に**1つだけ**○ (マル) をつけてください。
- ・問2、問3は4段階評価の質問です。**それぞれの項目について1つずつ**○ (マル) をつけてください。その他の選択肢をチェックした場合は、具体的な内容を回答してください。
- ・**問4**の設問は自由回答です。具体的なお書き下さい。

※地域の現状について、地域にお住まいの皆さまのご意見を広くお聴きすることを目的としています。そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

「オモテ面」

「ウラ面」

- } 該当する数字を丸で囲んで下さい。
- } その他ご意見がありましたらご自由にご記入下さい。
- } 該当する数字を丸で囲んで下さい。
- } その他ご意見がありましたらご自由にご記入下さい。
- } ご自由にご意見をお書き下さい。

- ・該当する数字を○で囲んで下さい。
- ・その他を選択した場合は () に詳細をご記入ください。

～ アンケートの回答期限 ～

回答は、202●年●月●日 (●) までをお願い致します。

※この期限以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

ご家族のなかで複数ご意見いただく場合は、WEBページのご回答方法をご活用ください。
幅広いご意見の収集に、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

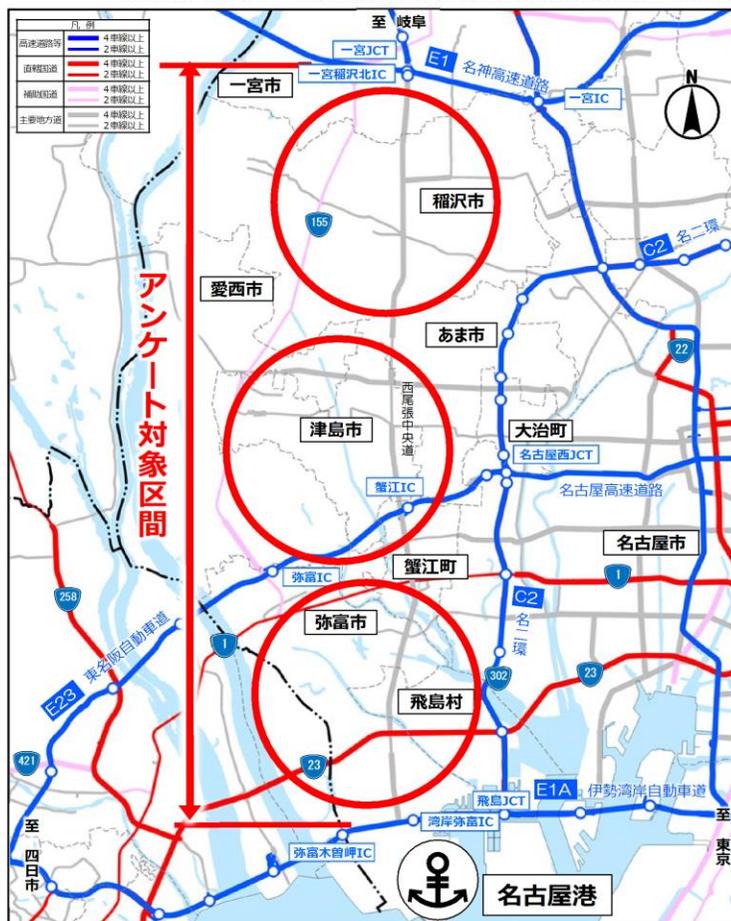
7. 意見聴取方法（案） ③アンケート調査（紙面構成案：P3）

新たな道路（一宮西港道路）を計画している沿線地域の特徴



- ・西尾張・海部地域※は名古屋都市圏の主要都市や、日本の経済・物流の中心である名古屋港に隣接しており、立地を活かした地域開発が進められています。
- ・一方で、日本最大の海拔ゼロメートル地帯が広がっており、災害リスクの高い地域です。

※西尾張・海部地域：一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村



特徴①：土地利用・人口

- ・西尾張・海部地域は名古屋都市圏の主要都市である名古屋市、岐阜市、四日市市や名古屋港に隣接
- ・西尾張・海部地域の人口は増加傾向（全国水準を上回る）

特徴②：名古屋港

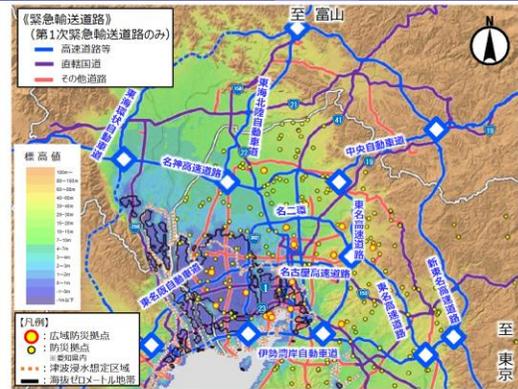
- ・西尾張・海部地域は名古屋港に隣接
- ・名古屋港は、輸出額・貿易収支・取扱貨物量で全国1位を誇るなど、日本の経済・物流の中心となる港湾である



【写真提供】名古屋港管理組合

特徴③：防災

- ・西尾張・海部地域が位置する濃尾平野には、日本最大の海拔ゼロメートル地帯が存在
- ・南海トラフ巨大地震を想定し、災害時の物資輸送計画の策定や、防災拠点の整備が進められている

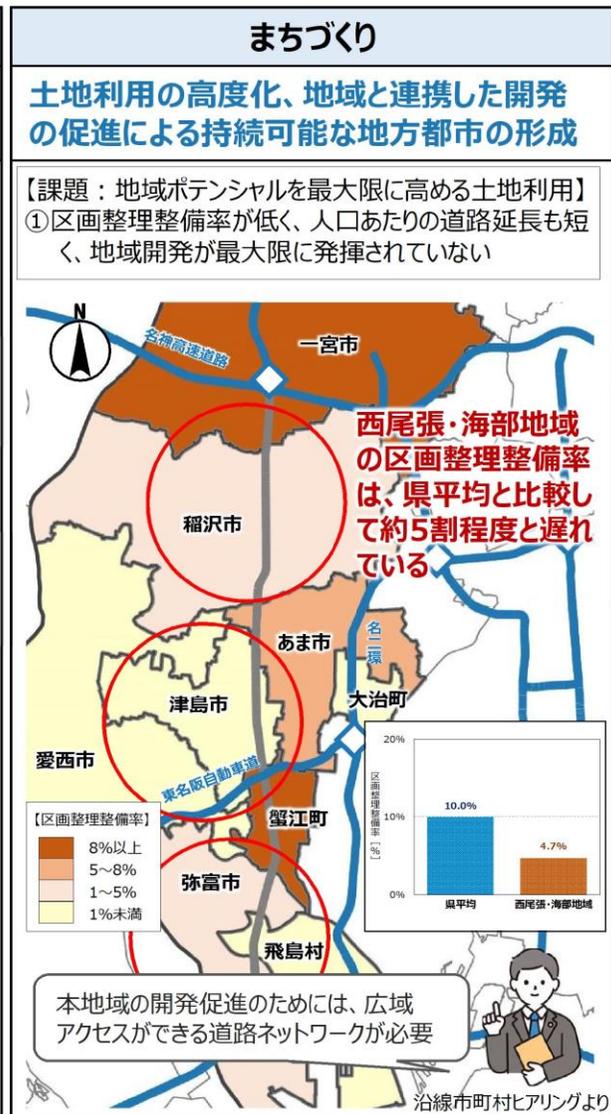


特徴④：地域開発

- ・2021年3月に一宮稲沢北ICが開通し、周辺では新たな物流拠点の立地等が進められている
- ・また、西尾張・海部地域では、市町村の将来構想において、産業振興を位置づけている

7. 意見聴取方法（案） ③アンケート調査（紙面構成案：P4）

一宮西港道路の課題



7. 意見聴取方法（案） ③アンケート調査（紙面構成案：P5）

郵便はがき

4 6 4 0 0 6 6

料金受取人払郵便

〇〇局
承認

名古屋市千種区池下町2番62号
国土交通省 愛知国道事務所
計画課 行

差出有効期間
令和*年**月**
日まで
(切手不要)



E1

問1-1.	ご回答された方について教えてください	住所	1.名古屋市千種区 2.名古屋市港区 3.一宮市 お住まいの市区町村を選択してください 4.津島市 5.稲沢市 6.愛西市 7.清須市 8.弥富市 9.あま市 10.海部郡大治町 11.海部郡蟹江町 12.海部郡飛鳥村 13.桑名市 14.桑名郡木曾岬町
		性別	1.男性 2.女性 3.回答しない
		年齢	1.10代以下 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70歳以上
		職業	1.会社員 2.公務員 3.自営業 4.主婦・主夫 5.学生 6.パート・アルバイト 7.無職 8. ()
問1-2.	普段自動車を利用されますか【1つ選択】	1.ほぼ毎日 2.週に数回程度 3.月に数回程度 4.ほぼ利用しない 5.利用したことがない	
問1-3.	「問1-2」で1～4と回答された方にお聞きます。 P.1拡大図の地図に示す『一宮西港道路※地図中〇〇〇で示す路線』の周辺（西尾張・海部地域）の道路を利用されますか。	1.利用する 2.利用しない	
問1-4.	「問1-3」で1と回答された方にお聞きます。 一宮西港道路周辺の道路を利用する主な目的を教えてください。 【主たる目的を1つ選択】	1.仕事 2.通勤・通学 3.日常的な買い物・通院等 4.観光・レジャー 5.その他 ()	
問1-5.	「問1-4」の目的で向かう主な目的地はどこですか？	() 都・道・府・県 () 市・町・村 () ※〇丁目以下は記載無しで構いません	

問2. 一宮西港道路周辺の道路網には、どのような交通課題があると思いますか？
以下の①～⑥の交通課題について、4段階評価してください。

【4段階評価】

4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない

交通課題	あなたの評価の程度			
①一般道に大型車両と通勤車両が混在して危険	4	3	2	1
②一般道が混雑しており、速達性・定時性が低い	4	3	2	1
③地震や津波により道路ネットワークが分断される恐れがある	4	3	2	1
④被災時に救援活動や支援物資等の円滑輸送に不安がある	4	3	2	1
⑤地域から広域交通ネットワーク（高速道路）にアクセスしづらい	4	3	2	1
⑥道路ネットワークが不足しており、産業立地などの空白地帯が存在している	4	3	2	1
⑦その他（自由回答）				

問3. 一宮西港道路周辺の道路網には、どのような道路機能が必要だと思いますか？
以下の①～⑥の道路機能について、4段階評価してください。

【4段階評価】

4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない

道路に求める機能・役割	あなたの評価の程度			
①大型車が市街地の一般道等をなるべく通らないようにできること	4	3	2	1
②名古屋港からの広域交通のアクセス性が向上すること	4	3	2	1
③津波浸水想定エリアに信頼性の高い支援ルートが確保されること	4	3	2	1
④津波浸水想定エリアで道路が緊急避難場所として機能すること	4	3	2	1
⑤地域から広域交通ネットワーク（高速道路）にアクセスしやすくなること	4	3	2	1
⑥地域開発等の活性化に寄与すること	4	3	2	1
⑦その他（自由回答）				

問4. この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見をお書きください。
（自由回答）

例) この道路ができれば、開発計画が活性化し、交通の流れも変わって地域の発展に繋がると思う

ご協力ありがとうございました。